

北野病院呼吸器内科で研修しませんか

【診療の特色】最新・最善の医療を提供することを使命として

北野病院は大阪駅から徒歩15分のところにある685床の急性期病院です。常に最新の医療を適切に患者さんに届けること、患者さんに近い医療を心がけること、さらに常に科学者としての視点を持って診療にあたることを目標に日々の診療に従事しています。コロナ禍にあっても、地域医療を守るべく最前線で対応にあたっています。私たちの取り組みのいくつかをご紹介します。

- 吸入指導ネットワークを立ち上げ、地域での吸入手技の統一、アドヒアランス向上を図っています。
- 慢性呼吸不全患者に対して経皮CO₂モニタリング等を積極的に行い、睡眠時低換気などを早期に診断し治療介入をすることで成果を上げています。
- 間質性肺疾患の診断において見過ごされやすい慢性過敏性肺炎の原因抗原を知るために、積極的に自宅の環境調査を行い、原因を除去することで薬物療法を行うことなく病状改善を図っています。

病院は自然豊かな扇町公園に隣接し、最寄りのJR天満駅周辺には安くて美味しいお店が沢山あります。

【スタッフ・教育】熱心なスタッフがそろっています

現在、主任部長1名、部長1名、副部長3名、医員3名、内科専攻医3名が所属しています。

専攻医は1年間、近畿圏の主要な関連医療施設でも研修を行い、幅広い診療経験を積むことができます。

また、当院は新呼吸器専門医制度の基幹施設でもあり、呼吸器専門医をめざして連動研修も行えます。

【入院患者】多彩な呼吸器疾患を経験できます

2019年度の外来患者数は年間延べ約26,933名(初診約2,498名)です。入院患者は1,640名でした。入院患者の平均年齢は71.4歳、在院日数は13.1日、緊急入院は全体の43.5%でした。入院患者の内訳は、肺癌(586名)、肺炎(310名)、びまん性肺疾患(136名)、睡眠時無呼吸症候群関係(148名)、COPD・喘息(95名)、呼吸不全(74名)など多彩な疾患・病態に対応しています。専攻医は常時10名程度の入院患者を担当し、指導医および多職種スタッフと共にチームで診療にあたっています。土日は当番制を導入し、負担の軽減とオンオフの切り替えを図っています。

【外来診療】一人で外来診療を行えることが研修の大きな目標の一つです

専攻医1年目から外来を担当し、外来診療能力を十分に習得すべく実践教育を行っています。肺癌患者の外来化学療法は腫瘍内科と併診で実施しています。

【検査手技】多くの検査・治療手技を学ぶことができます

気管支鏡検査は年間350件を超え、EBUS-TBNA、EBUS-GSの件数も増加しています。また2019年度にクライオバイオプシーを導入しました。その他、CTガイド下生検や胸腔ドレナージなども多数経験できます。

【研究実績】臨床研究および学会発表も盛んに行っております

2019年度は英語論文6編、学会・研究会等で34題を発表しています。

【施設認定】

日本内科学会認定医制度教育病院、日本呼吸器学会専門医制度認定施設、日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設、日本臨床腫瘍学会認定研修施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本感染症学会、日本アレルギー学会研修施設など

スタッフとともに



北野病院周辺地図

